

2020年6月30日
イオン株式会社

お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を築く 「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」を制定

イオンは、本日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、防疫対策の基準などを示した「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」^{※1}を制定しました。

本プロトコルは、防疫対策を一時的な取組みでなく継続的に実行していくことで、防疫が生活の一部となる社会を実現し、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を守ることを目的にしています。

イオンは、感染拡大防止にむけ、本年1月の中国武漢での対策開始より現在に至るまで、専門家による科学的根拠に基づく助言をもとに、最新の知見に基づく防疫対策を、お客さまのご協力を得ながら、実施してまいりました。

本プロトコルは、これまでの取り組んだ防疫対策を明確な基準とすることで、継続して、従業員の防疫教育やお客さまへの周知に活かすべく、3名の防疫に関する専門家^{※2}の監修を加え作成しています。イオンが取り組む事項として、①従業員からの感染リスク②施設内での飛沫感染、接触感染リスクから防ぐ対策基準を示すとともに、お客さまへの感染防止策への協力をお願いを示しています。

また、イオンが展開する各国の従業員への教育及びお客さまへの周知に活用するため、英語、中国語でも作成しています。

イオンは、今後も「新しい生活様式」を、全従業員の行動とお客さまの協力によって、これまで以上に日常生活に定着持続させ、地域社会の「安全」を確保し「安心」に繋げていくために、最大限の努力をしてまいります。

<イオンの防疫への誓い>

イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により防疫対策を実行します

イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します

イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築いたします

イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します

※1 本プロトコルは、随時改訂を行い2020年12月までを当面の期間としています。

※2 前世界保健機関（WHO）食品安全・人畜共通感染症部長、イオン(株)アドバイザー
東京理科大学薬学部教授
国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授

宮城島 一明氏
堀口 逸子氏
和田 耕治氏